まちの話題 in Miyakonojo

Ъ

んなの笑顔を

思い浮かべながら



上水流町の科長神社からくり花火保存会による仕 掛け花火の制作が6月24日、市内の花火工場で行わ れました。会員らは、祭り当日の観覧者の笑顔を思 い浮かべながら、長さ12㎝ほどの竹筒に少量の火薬 を入れては小づちで打ち固める、根気のいる作業を 繰り返していました。



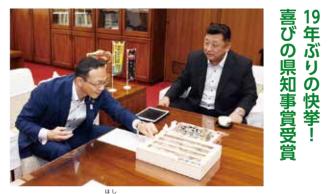
明和小学校で6月28日、縫い物を学ぶ家庭科の授 業が行われ、地域ボランティア6人がサポートしま した。ボランティアが手を取って指導することで、 知識と技能を習得しながら、交流も深められるこの 取り組み。児童らは、ボランティアの針使いを見な がら、真剣な表情で授業に取り組んでいました。



山野原地区高齢者クラブと沖水小学校児童が7月 12日、同小学校横の畑に咲いた満開のひまわりを楽 しみました。このひまわりは、同高齢者クラブが地 域交流事業として、4月に児童らと種をまいたもの。 松元尊さん(2年)は「また一緒におばあちゃんた ちと育てたい」」と話していました。



地域活性化と五穀豊穣を祈願する高崎町どろんこ バレーボール祭が6月17日、高崎小学校南側の水田 で開催されました。市内外から46チーム310人がエ ントリー。チームごとに趣向を凝らしたユニホーム を身にまとい、泥だらけになりながらボールを追い かける選手の姿に、歓声と笑い声が溢れていました。



第63回宮崎県乾しいたけ品評会で優等と県知事賞 に輝いた田中未一郎さん(山田町中霧島)が6月25日、 池田市長に受賞報告をしました。田中さんは同品評 会「箱物の部・香茹」に出品。都城北諸県地区から の優等受賞者は19年ぶりで、田中さんは受賞の喜び やこだわりを熱く語っていました。



明治後期に造られ、NPO法人が管理する「旧持永 家住宅隠居棟」と「旧持永家住宅門・石塀」が国登 録有形文化財(建造物)に登録されました。7月9日 には、児玉晴男教育長から同施設を所有する蒲生宏 孝さん(庄内町)と庄内地区まちづくり協議会の釘 村美千也会長に、登録証が手渡されました。